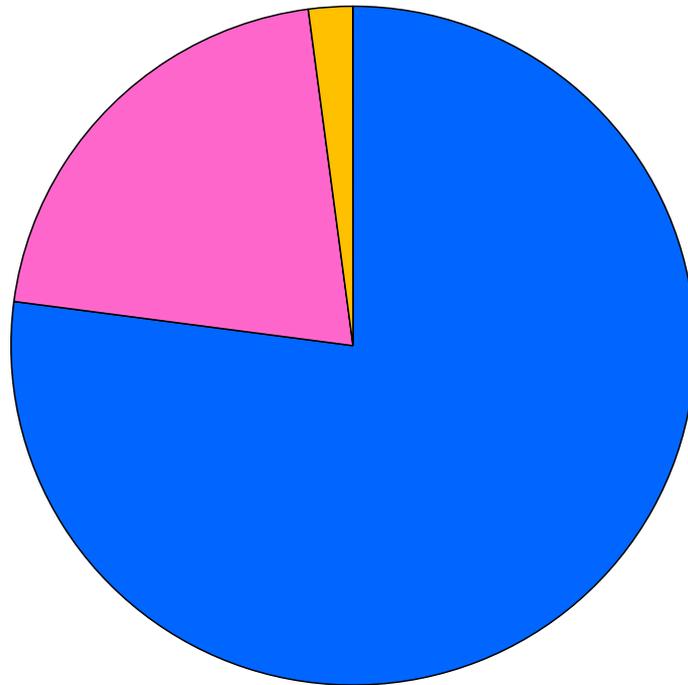


【オンライン】環境変化に適応できるレジリエンス・マ
ッスルの鍛え方「チーム編」
属性回答集計

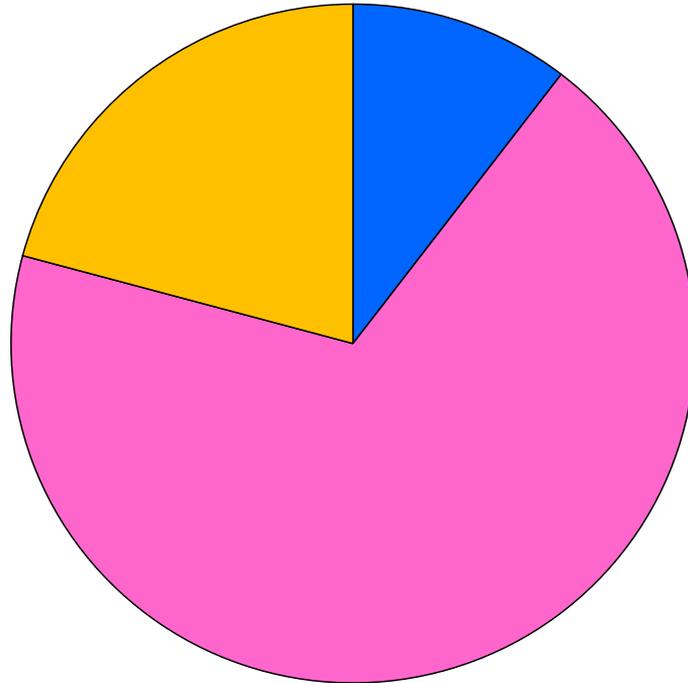
【属性】性別

No	回答	人数	%
1	男性	37	77
2	女性	10	21
3	性別無回答	1	2
合計		48	



【属性】年代

No	回答	人数	%
1	アソシエイト（～34歳）	5	10
2	リーダー（35～59歳）	33	69
3	シニア（60歳～）	10	21
合計		48	



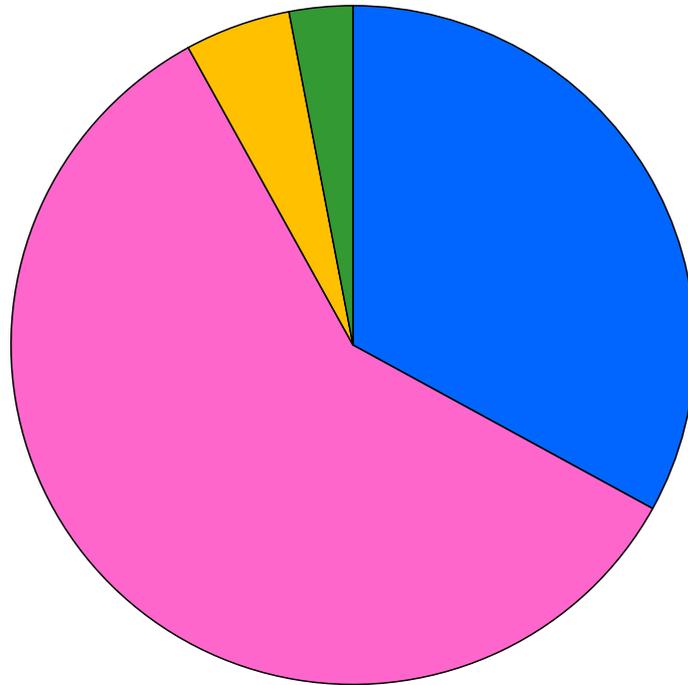
プログラム名 【オンライン】環境変化に適応できるレジリエンス・マッスルの鍛え方「チーム編」

単元名 RA

アンケートタイトル 【オンライン】環境変化に適応できるレジリエンス・マッスルの鍛え方「チーム編」

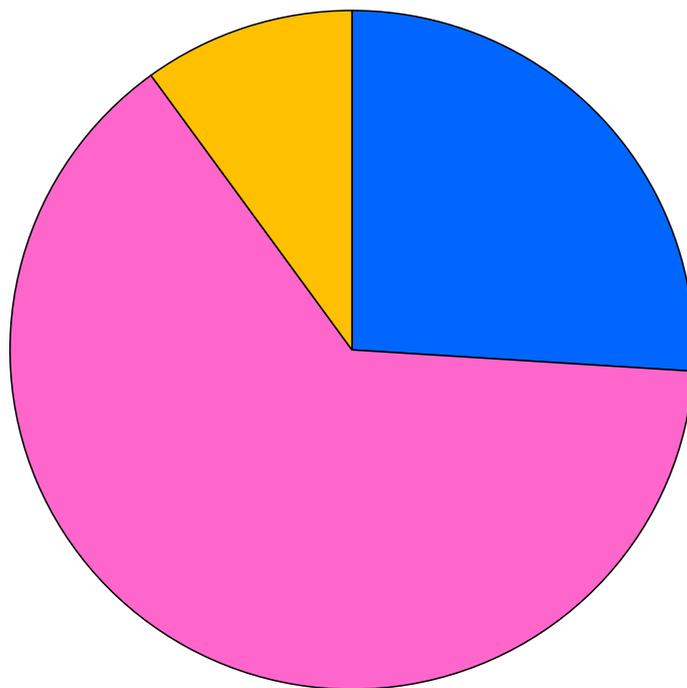
質問1 今回、事前にPDF資料のご準備をお願いいたしましたが、どのようにご準備されましたか。（択一式）

No	解答	人数	%
1	プリントアウトした	13	33%
2	プリントアウトせず、PDFを画面表示して利用した	23	59%
3	準備できなかった	2	5%
4	その他	1	3%
合計		39	



質問2 プログラム全体の内容は、いかがでしたか。（択一式）

No	解答	人数	%
1	とても良い	10	26%
2	良い	25	64%
3	どちらでもない	4	10%
4	あまり良くない	0	0%
5	良くない	0	0%
合計		39	



【自由記述】

- ・事例を交えた具体的な説明がわかりやすい
- ・津波避難場所への路面の道しるべには感動しました。
- ・今回もまた前向きな気持ちにさせていただきました。
部署内のコミュニケーションを頑張っていこうと思いました。
- ・かまたさんの話をきくだけで毎回チカラがわいてよい時間がすごせています。個人からチーム、次回組織と。誰も経験した事のないこれまでとこれからの事をひとりひとりが意識していかないとはいけませんね。
- ・具体的にどうすればいいのか、よくわからなかった。講師の体験談はお話としては面白い。
- ・自分のチームに照らし合わせて、強み弱みを再認識できた。
- ・仲間をつくり協力しあいなさいということが自分にとっても大事なポイントということとは再確認できた。
- ・講師の経験に則った事例を話して頂きとても興味深かった
- ・自分としては、一番、一般的な事だと思ったため。
- ・チームの一員として働くためのマインドセットを前回に引き続き、教えていただく良い機会でした。根を伸ばすことやTEAMを忘れずに業務に取り組もうと思います。地域防災へのチームとしての取り組みから発展させていく点も分かり易く、防災や地域活動についても取り組もうと思える内容でした。
- ・オンラインならではの良さがあった。
- ・一般論ではなく、鎌田講師ご自身の体験、地域との協業をベースに話されていたことが、今後来る災害に地域ぐるみで立ち向かう姿を想像できました。
- ・チーム力のバランスチャートは良かったです。ほかの人の回答も見てみたいと思いました。
- ・個人のレジリエンスとチームのレジリエンスの違いが鎌田さんの話でよくわかったので
- ・チームで活動する上で大切なキーワードをいくつもいただきました。感謝致します。
- ・辻堂地区の総合防災訓練の代替事業の事例もあり、非常に分かりやすいセミナーでした。一人でやれることは限られており、チームの力を発揮することが重要だと改めて認識しました。
- ・自分が所属するチームの強み弱みを具体的に把握することは難しかったが各項目に点数をつけて評価することができた。今後の仕事のやり方にきっと役立つと思う。
- ・いつも元気をもらえます。

・チームで同じ志を持つ、確認する、そのうえで前に進むということの大切さがわかったのだ。

・チームとしてのウィークポイントをチャートにより認識できたが、そこから具体的にどう行動していったらよいか弱かった。限られた時間なので難しかったかもしれないが、随時参加者からの質問に返答しながら進んでいったらより参加している感じが出ると思った。

・いつもどおり鎌田さんのセミナーは前向きな取り組みと力を感じられ元気をいただけます。

・話の内容は理解できたが、自分の行動の変化にまで落とし込めなかった

・講義だけでなく、ワークや講師自身の活動例の紹介など多様な内容でよかった。

・プログラム後半のチームについての具体的な事例がわかりやすかったのだ。

・鎌田さんのご自身の体験に基づく熱意にあふれるお話しが腑に落ちました。また集合研修よりオンライン研修の方が集中して聴くことができ、自分自身が納得できました。

・鎌田さん自身の体験談が参考になりました

・レジリエンスが身についているかは別として”気づき”が必ず1つ見つかるから

・交流会をちょっと覗いてみたら、皆さんの熱心な雰囲気気が引けてしまい、特に何の行動も目標も無い私には、まだ参加は早すぎ、と思って退出してしまいました。

・講師の熱意が伝わってきた。

・とてもポジティブな講義でしたので、前向きな気持ちになり、元気ができました。

・レジリエンス力というのは自分だけの力では限界があり、個人の力はもちろん、他社の応援を以下にもらうことが出来るかが重要！ というところが刺さりました。鎌田講師の具体事例（きずなPJ・避難施設・・・）からチーム員の力を以下に引き出すことが出来るかが重要なことが改めて確認できました。同じアンケートで、上司が部下の回答を気にするというのはわかる気がする。自分を評価されているような気持というのでしょうか…乖離が大きいほど危険ですね。

・先生の体験を交えながらの講義で楽しく学習できました。
今後仕事をしていくうえでの参考としたいと思います。

・チェックシートでチームのレジリエンスの現在地を確認することが出来、チームレジリエンスの鍛え方を学ぶことが出来たから。また、他人に助けを求めるのもレジリエンスであると知ることが出来た。

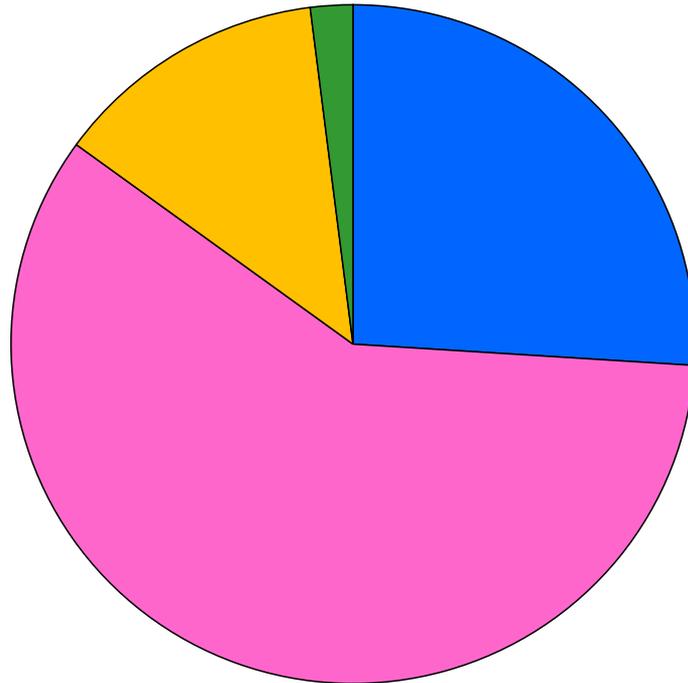
・レジリエンスについて、実践事例と可視化によって伝わりやすい内容であった。自分の問題に置き換えて、活用してしていきたいと思う。

・自身の所属チーム力が高いと思われることが認識できた。

・鎌田さんの体験談から、良質の仲間と協力し、チームのレジリエンスを鍛えていくことの大切さを知ることができた。

質問4 本プログラムを振り返り、あなたは「回復力としてのレジリエンス＝適応力と順応力」について、理解することができましたか。（択一式）

No	解答	人数	%
1	できた	10	26%
2	ある程度できた	23	59%
3	どちらでもない	5	13%
4	あまりできなかった	1	3%
5	できなかった	0	0%
合計		39	



【自由記述】

- ・講師の説明が良いので
- ・できたけど実行することができるか不安です
- ・踏切内の人立ち入りによる電車遅延の為帰宅が遅くなり、開始時間に間に合わず途中からの参加になったので。後日配信されたらまた改めて視聴したいと思います。
- ・今の状況をしなやかに、そして強く乗り越える事ができるよう、あらためて感じました。
- ・PDFで自分が自分のいるチームに対してどう思っているかは把握できたが、不足している部分をどうやって補えばいいのか、良い部分をどうやって伸ばせばいいのか、よくわからなかった。
- ・コロナも含めて環境が変わってお客のニーズも変わってくるためニーズを理解するとともに、順応していくことがチーム力につながってくるのだとおもいました。また、その両方ができることで回復力といえるのだと思います。
- ・事例の説明は分かりやすかったが、自分の中ではレジリエンスとしての理解まで発展していないように思った
- ・良いチーム同志を作ることがとても重要
- ・より具体的なものだと思い回答した。
- ・木の根っこの例がとても分かり易かったです。一時的なゴールだけではなく、プロセスを意識し、広い範囲を見ていきたいと思いました。全員で確認すること、毎日のミーティングで実施できていて良かったと思いました。
- ・画像資料やカメラの切り替えが良かった。
- ・折れない心、体を持ちながらも、人を助けるだけで頼ることも大事。それが柔軟な低応力、レジリエンスであることが理解できました。そのことが助け合う土壌づくりにつながるのかもしれない。
- ・コロナ禍においては、レジリエンスという言葉では表せない個々の事情や価値観の乖離が進んでいるのではないのでしょうか。
「同志」を募ることがますます難しくなっているように思います。
- ・元々、回復力としてのレジリエンスはある方だと思っていますが、自分に適応力と順応力があるかはわかりません。
- ・上記の質問4については鎌田先生の今回のお話しには「回復力としてのレジリエンス＝適応力と順応力」に関係する内容はあまりなかったような気がします。
- ・個人としては根をしっかりと張ること、チームとしては変化や変革が必要な時にしなやかに対応できるようにチームの目標をメンバーの総意のもと決めることが大事であると感じました。

・辻堂地区防災協議会の取組や辻堂ジャンボプールでの防災イベントを開催するまでのお話は、要点をまとめたテキスト的な理屈でなく、リアルなレジリエンスを感じ取れた。

・所用により、最初の20分ほど受講できませんでした。それ以降のお話は理解できたと思っています。

・適応と順応をうまくやっていくことは、自分もチームも気持ちよく過ごせることにつながるな…と、自分なりに理解できたと思うので。

・スライドと説明でわかりやすかった。

・木の根や闘牛などの身近な例を挙げての説明が理解を促進した。

・チーム目標が立案されるプロセスの重要性を知ることができたため。

・「回復力としてのレジリエンス＝適応力と順応力」について理解が深まりました。今日からどう自分の生き方に実装していけるかが課題です。良い学びの機会を頂戴し感謝しております。

・1時間ほどの短い時間の講義だったので、もっとじっくり聞きたいと思いました。休憩入れてワークショップなども入れたりして2～3時間にしても。。。その場合は金額が上がってもいけるのでは？！

・他力を利用し成し遂げることもレジリエンスの一つなのは救われる思いがする

・理論は理解出来たので。

・事例とレジリエンスとのつながりが弱い。もう少し説明が必要。

・「絆プロジェクト」や「感染症対策を踏まえた避難施設など開設運営トレーニング」等具体的なお話をして頂けたので、わかりやすかったです。

・「竹」の回復力 「テニスボール」の緩衝力 「タンポポ」の適応力
武田信玄の風林火山 的な・・・感じですかね。世の中がコロナをきっかけにガラリと変化している今、これまでと同じでは生き残れない。その時代時代に適応して生き延びていかねばと思う 個人→志 チーム→同志 何を目的に集まったかによりチームの在り方は変わるが、仕事のチームは全員参加の良いチームで働きたい

・竹やタンポポや根でわかりやすく説明してくれたから。

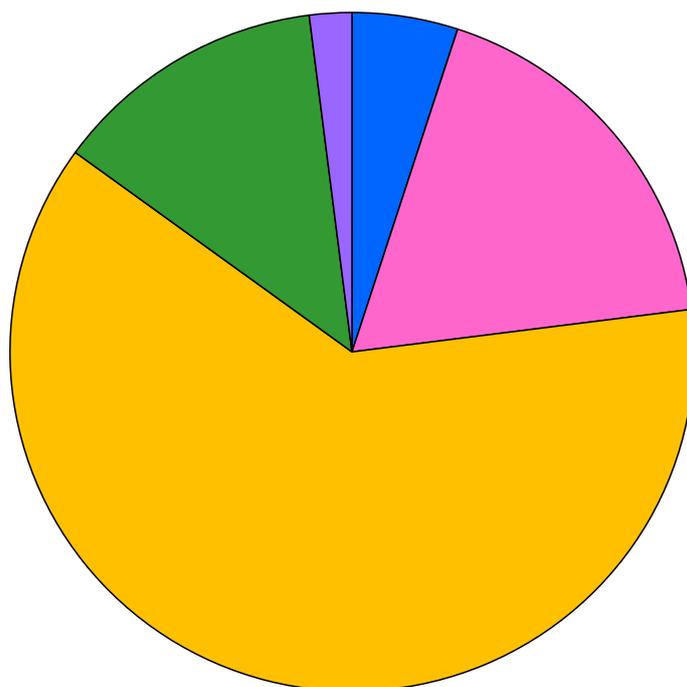
・逆境を乗り越えていくためには、個人の努力だけではなく、他者の力を借りて、チーム力の必要性を知り、チームのレジリエンスの大切さが感じられました。それを実現していくには簡単にはいことだと思えます。今回は、現状分析をする上で、たくさん気づきがありました。実現までのスモールステップに関心があります。次回を期待しています。

・チーム内の情報共有はかなりできていると思われるが実際、新しいことが発生した場合、適応できるメンバーが限られてしまう。順応できるまで若干時間がかかる。

・回復力という意味では、あまり今回のプログラムからは感じることはできなかった。鎌田さんの体験談だけでなく、もう一步踏み込んだお話を次回は期待したい。

質問6 交流会はいかがでしたか。(択一式)

No	解答	人数	%
1	とても良い	2	5%
2	良い	7	18%
3	どちらでもない	24	62%
4	あまり良くない	5	13%
5	良くない	1	3%
合計		39	



【自由記述】

- ・ 家事の都合上、交流会に参加できません
参加していないの選択肢がないのでどちらでもないを選択しました
- ・ 微妙
- ・ 帰宅が遅くなるので参加しませんでした。
- ・ 都合がつかず不参加とさせていただきます。すみません。
都合がついたときは参加させていただきたいと思います。
- ・ 参加できませんでした。
- ・ 参加していないので。隣席に他人が座ることもなく、同テーブルの他人に必死に話を合わせることもなく、他人との交流を強制されないオンライン講演は、気楽に参加できるのでとてもうれしい。
- ・ すみません、本日は帰宅させられます
- ・ 都合で参加できませんでした、申し訳ありません。
- ・ 予定があり不参加です
- ・ 急用のため、不参加になりました。すみません。
- ・ グループ分けの際に最初に何をするか分かればより良かったです。
最後の質問コーナーでは 各専門家が集まって、それぞれの正論を持ち合う中でゆっくり進めていくことが大事。最初が大事。ボタンの掛け違いが起きそうになった際、リーダーとして仲裁する際、それぞれの意見を聞くときに雑談を入れるといったことも勉強になりました。
- ・ （カメラOFFでのご参加もOKです。お気軽にご参加ください）と書いてあったが、グループ分けの際にカメラをONにするよう促された。
- ・ いつもはチーム単位でしか顔をみられませんが、リモートとはいえディスプレイに映るみなさんにお会いできて楽しく感じました。
- ・ ビデオ会議で音が回ると大変聞き取り難く、また話者も話し難そうでした。
進んで回答する気が起こらなかったのはそのことが大きいです。 会場の音声をZOOM入力する際は必ず、スピーカーの音がマイクに入らないようにミュートを徹底することを心掛けるとよいと思います。
対してブレイクアウトルームでは大変話しやすく、名残惜しかったです。 ミーティング形式は5~6人程度にして、今回のような1対多数ではウェビナーをつかうことを検討してはいかがでしょうか。
- ・ 参加者同士、参加者と講師で交流できるのは素晴らしいが、せっかくチーム分けをするのであればチームでまとめるテーマ設定などがあればさらに良かったと思う。
- ・ 多くの方々が一堂に会するだけで意味があると思います。

・ブレイクアウトルームの時間が短く、ブレイクアウトルームに分かれた後の進め方が分からず、中途半端だったように感じました。ブレイクアウトルームが終了し、元の交流会に戻った時は、参加者が多く、質問や意見を言うにくい雰囲気でした。そのブレイクアウトルームに鎌田先生が入ってくるような形の方が気楽に質問や意見が交わせるように思いました。

・チームとして必要なこと。目的に向けた話し合いだけでなく、まず無駄話から入る。これは交流会でなければ聞けなかった。

・すみませんが、所用により参加しませんでした。

・グループ分けされて最初どうしていいのかわかりませんでしたけど、グループの皆さんの声が少しでも聞くことが出来ましたし、同じ講義を聞いた「同志」みたいな感覚を持って面白かったので良かったです。グループで何を話すべきかの案内があればもっと良かったです。

・グループ分けはおもしろい機能と思ったが、分かれる前の説明が足りず、時間も足りなかった。説明があったとしても交流会で初対面の方とグループ分けされるとなると、口火を切る人がそのグループにいなかった場合、中々会話が進まない気がした。また講師がミュートされないので本会場以外は参加者の音がずっと回っていた。事前に講師の方にミュートを説明を説明しておいてほしい。

・グループのディスカッションのテーマをはっきりさせないと、面識のない方ばかりで何をどう切り出せばよいか分かりませんでした。

・時間配分が変だった

・30分の内容を事前に設計しておくにより活性化するのではないかと思います。

・グループ分けの5分が短かったため。

・オンライン交流会ホンワカしていてとても良かった。

開始時間早めもう少し時間とったらいいなと思う。

・初めてのリモート交流会参加でしたが率直な感想として交流は難しいと感じられた。

・参加見合わせたので。

・時間的に中途半端になってしまい、ブレイクアウトルームの利用のしかたは難しいと思いました。もし、ブレイクアウトルームを利用するのであれば、どなたか一人司会者を指名しておき、講義の内容についての感想や質問などをまとめて頂けるような方向にもっていただけるとよいと思います。

・アナウンス不足もあり部屋に分かれた後、何をすればよいかわからず少し・・・の時間ができた。指示がなさそうだと察してそれぞれがこの場を進めていこうとする感じがあったのでよかったが、一人が話し始めたら時間がきてしまったので・・・掛け合いになると辛い。Web会議には参加者も慣れが必要。活発な意見交換にはなかなかつながらなかった

・参加しませんでした。

・私自身がオンラインに慣れてないので、消極的でした。もっと、思った事を伝えあって深められればいいですね。離れている方々とライブで話しができるのはいいですね。もっと深く関わり、つながりをつくれるようになれるといいです。

- ・ ほぼ鎌田さんが話していたので交流会とは思えない。
- ・ 時間がなく、参加できませんでした。

質問8 本プログラムを通して、気付いたこと、これからご自身で実践したいと思ったことはありますか。
小さなことでも構いませんので、教えてください。（自由記述）

【自由記述】

- ・小さなことできることから始めたいと思います。
- ・チームとして助け合うには情報共有が必要だと思ったので、ささやかなことでも情報共有していきたいと思いました。
- ・コロナ禍での活動は戸惑うことが多く、在宅勤務が増えていく中、個人個人になりがちです。チームでの共有と相談して助け合う事が、より一層必要なのだと感じました。我がチームはよくできているのではないかと思いました。よいチームなのだと感じています。
- ・植物を育てる
- ・現在のコロナ禍の状況で、チームとして業務をしていくうえで、自分のチームに足りない点がよくわかったように思います。
- ・グループそのものが存在しないような環境で仕事をしているが、考え次第で他社の方も仲間だと思い良い環境に変えていく努力が必要だと思った。
- ・辻堂がとても輝いて見えました。うらやましいです。行動を起こす勇気が少しでもあれば、同じ志を持った人に出会えるのだと思います
- ・所属部署が、業務の違いはあるものの、よりチームワークが大事であることを再認識した。ただ、現時点では、誰とでも、気軽に、コミュニケーションを取っていくことはなかなか難しいので、この講義やKK2のコミュニケーションの講義を参考に改善していきたい。
- ・コロナ禍の状況でも「転換期」であることを前向きにとらえたいです。広い視野、共有した目標を持ちながら、支持根を作っていきたいと思いました。個人としての力の弱さに向き合いつつ、自分ができることに積極的に取り組みながら、チームに助けを求めて、チームの一員ということを意識していきたいと思いました。
- ・レスポンスアナライザーがあると他の参加者がどう答えたのか分かるので良かった。
- ・身近なところで助け合える仲間づくり・・・ 鎌田さんに遠く及ばない力量の私がどのようにすればよいのか、また現在は外にできることもかなわない状況で途方にくれております。
- ・他人を巻き込んで何かをやろう！という、強い意志とリーダーシップを持った人が中心にいないと、強いチームにはならないのだろうと感じました。
- ・テレワークの時間も増えているので、会社だけでなく地域での自分の役割を考えていきたいと思った。
- ・チームで会議をする際には雑談から入る。その雑談の内容も時間も予定調和もあまり考えなくてよいかもと思いました。会社員にはなかなか難しいかもしれませんが、雑談の時間が長くなっても気のすむまでやるというのも、いつかやってみたいと思案してお

ります。

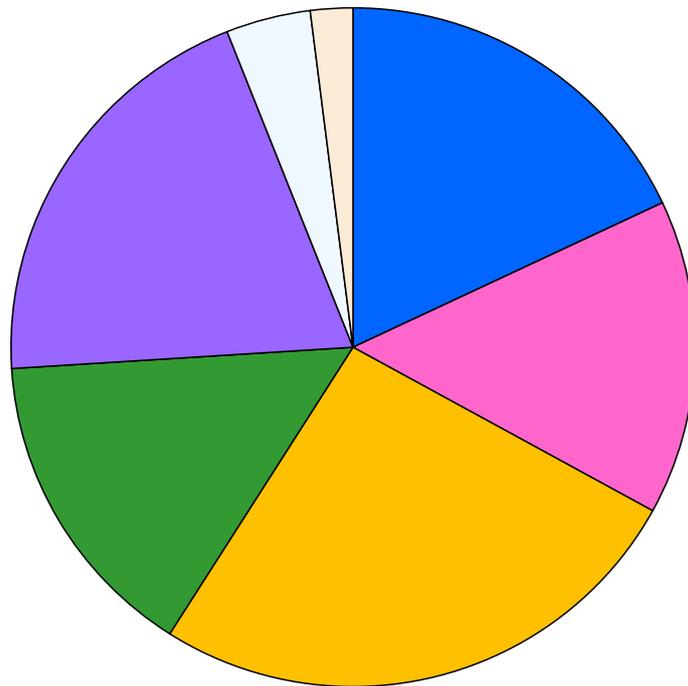
- ・自分自身の強みが何か改めて見直し、強みを活かすこと、チームの目標をメンバー全員で共有し、自分の強みを発揮しつつ他メンバーの強みを合わせて困難を乗り越えるようにしていきたい。
- ・コロナ禍で危ぶまれた「水辺の安全を一緒に学ぼう」がオンライン会議を重ねて、オンライン上で開催できた。すごいことじゃないですか。熱を帯びにくいオンライン会議でどうやってミラクルを起こしたのか？KK2プログラム「プロジェクトを完遂するオンライン会議はこれだ！」をやってください。
- ・スライドの文字が小さく、画面で見にくかった。
全画面表示すれば、ある程度見られましたが……。
- ・無理なことは無理、しんどいときはしんどい、と言える関係性の構築。それを受け止めるチームの体制づくり。
- ・在宅勤務でコミュニケーションがままならない状況のため、自分も早めに助けを求め、周りにも気を配りたいと思った。
- ・自分として一番、グサツときたのは、チームで議論する場において反対意見があっても、場の雰囲気優先で切り込めないところがあるので、勇気をもって意見することも実践課題かと思いました。
- ・チーム目標の立案には時間をかけるべきだ、という話には納得できるものがありました。
- ・コロナに振り回されている昨今、鎌田さんのお話にあった地中に「根」を張ることが疎かになっているように思う。もう少し長いスパンで見ることがを心掛け、あらゆる変化やリスクにしなやかに対応できる「根」を固めたいと思いました。
- ・先ずはやってみるということに尽きる・・・なかなか難しい・・・
- ・第三回目も参加しようと思います。
- ・チームとして迎合するのではなく、お互い意見をぶつけたうえで、納得して同じベクトルで動けるようになりたいと思います。その為にも、自分のスキル向上を目指し、自信をもって意見を言えるように努力したいと思います。
- ・目標設定から参画する 人財力を最大限生かす 反対意見を受け入れる雰囲気づくり
助け合い 変化に対応 この5つを少しでも向上させて、良いチームを作り
良い仕事をしていきたい
- ・後半はご自身の事例紹介がメインだったのですが、チームレジリエンスの鍛え方をもっと説明してほしいです。
- ・レジリエンスについて考えるきっかけになりました。個人のレジリエンスだけでなく、人に頼り力を合わせ、支え合うようなチーム力のレジリエンスの大切さを感じました。目的を共有するプロセスからの取り組みの必要性と難しさを改めて考えさせられました。これからの解決が困難な問題に対して、目的を共有してどのように取り組んでいけばいいのか？私達のプロミネンスが今、問われているようにも思いました。
- ・チーム力の情報共有や他のメンバーのフォローなどできていると思われるが新しいこ

とや変化に若干弱いと思われた。

・チーム内での目標共有を図り、よりコミュニケーションをとっていくようにしなくてはいけないと感じた

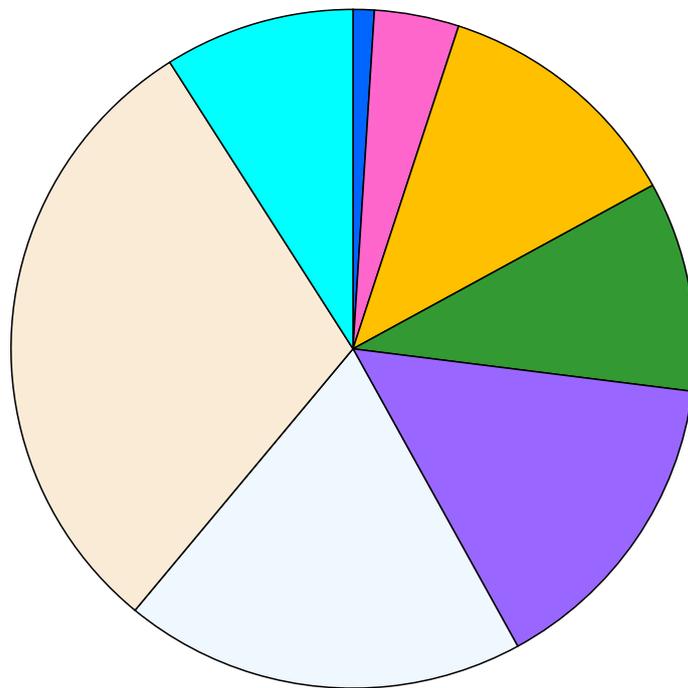
質問9 オンラインプログラムについて、ご都合の良い曜日を教えてください。（複数選択可）

No	解答	人数	%
1	月曜日	17	18%
2	火曜日	15	15%
3	水曜日	25	26%
4	木曜日	15	15%
5	金曜日	19	20%
6	土曜日	4	4%
7	日曜日	2	2%
合計		97	



質問10 オンラインプログラムの開始時間について、ご都合の良い時間帯を教えてください。（複数選択可）

No	解答	人数	%
1	朝（9：00まで）	1	1%
2	午前（9：00～12：00）	3	4%
3	昼休み（12：00～13：00）	8	12%
4	午後（13：00～16：00）	7	10%
5	夕刻（16：00～18：00）	10	15%
6	夜（18：00～19：00）	13	19%
7	夜（19：00～20：00）	20	30%
8	夜（20：00以降）	5	7%
合計		67	



質問11 全体を通してのご感想やご意見、今後の開催に向けての改善点等ございましたら、ぜひお聞かせください。（質問等のDPP機能、事前準備、ライブ配信の画質・音質など）（自由記述）

【自由記述】

- ・PCのせいかもしれませんが設問1の直後の根の話のところで音声は40秒ほど無音になりました。その時は自然に復旧しましたが最後のまとめでまた無音になりプログラムに入りなおして聞こえるようになりました。ライブ参加はトラブルが伴います。
- ・登録のメアドは貸与PCでしか見られないので、事前準備がある際はもう少し早めにご連絡いただくと助かります。 たまたま今回は在宅勤務の為PCを持ち帰っていたのでPDFを見れましたが、通常は職場に置いてあるので17:30以降のメールは確認ができないのです。
- ・オンラインでの開催は参加しやすいと思いますが、在宅で参加するとして家が忙しい時間でもあります。私個人だけでいいですとお昼等、勤務時間内が良いです。レジリエンスは今一番必要な事なので、今後も定期的開催をお願いします。
- ・講師がスクリーンに対して「ここの◎◎」という説明をする場面が何度かあったが、会場にはだれもいないと思うので、大きなスクリーンに出す必要があるのか疑問。装飾として使っているのであれば納得。オンライン受講者にはPCの画面が直接出ているのだから、説明のときにはPCを操作してポインタを出すなどしたほうがいいのではないか。アンケートに一時保存がついたのはすばらしい。
- ・特に音声映像も途切れず視聴できました。
- ・夜なので仕方ないが、やや時間に余裕がないように感じた
- ・印刷しないとレーダーチャートが記入できない
- ・アンケートの記入時に、設問1-4の設問の内容について、忘れたり、混合したりするときがあり、間違えて回答する恐れも有ることから、設問の内容を標題（例：評価、結果は？）でもいいので、載せておいてほしい。
- ・個人的な話ですが、ジャンボプールの近くに実家があり、よく行っていました。私が幼いころにこのようなイベントがあったらなあ、と思ってしまいました。交流会の流れや内容が事前にもう少しはつきりあると良いと思いました。発言しないとき以外はマイクオフを徹底して音声は回らない様にするよう全員が取り組むことが出来たら良いと思いました。
- ・音が回ってしまっている発言者が居て、聞き取りにくかった部分があった。
- ・内田さま、おつかれさまでした。グループワークですが、事前に説明のフリップを出しておくとうまくいったかもしれません。たまたまWiFiが途切れてテザリングに切り替えたりしている間に聞けなかったこともあります。
- ・会場にWEB会議上の音声チェックと適切なミュート操作を専任で行うオペレーターがいるとよいのではないのでしょうか。
- ・ZOOMでの交流会参加者が発言する際のハウリングを予防・軽減することはできないのでしょうか。

・鎌田先生にはいつも勇気をいただきます。ありがとうございました。
画質は以前に比べて非常に良いです。

・交流会の音声は回っており聞きにくかったです。

・交流会での分室は良い試みだったと思う。今回は成功とは言いづらかったけど、次回もチャレンジしてほしい。

・在宅で業務時間中の受講が可能であれば、午後の時間帯が都合がよく、業務時間外であれば、18時開始が都合がよく、入社して業務時間中の受講が可能であれば、昼休みを除く10-16時の間が都合がよく、帰宅後に受講するのであれば、19時開始が都合が良いです。

と都合の良い時間は、業務時間中の受講が良いかどうかや勤務場所に左右されます。

・鎌田さん、今回も生き生きとした事例紹介をありがとうございました。辻堂は確かにわたしも住みたい街ナンバーワンです！街の魅力アップに鎌田さんの取組みが一役買っていること、とても感動しました。マンションでのマグロ解体ショーにも驚きました！自分のマンションではそんなこと夢にも思いませぬ…。毎回新鮮な話題楽しませていただいています。今回もありがとうございました。

・上記で回答済

・鎌田さんへの質問は、講義中頻繁にリアルタイムに受付けて、回答もその場でしていくのがいいと思うのでDPPをもっと活用できたら良いかと思いました。

・交流会時、鎌田さん以外の方の発言時に音声がかぶっていて聞きづらかった。

・今回はハウリングが多かったように思います。

・ブレイクアウトルームの時間が15分くらいあっても良かった。リモート参加者発言中のマイクオフを徹底してほしい。

・Livenowの表示が5分前なので10分前くらいにしてほしい

・講義を聴きながら、質問を入力するのは難しいので、時々ブレイクタイム（1~2分程度）を入れて頂ければと思います。

・交流会で参加者が話している時に鎌田さんのマイクがONになってたので音が回っていたのが聞きづらかったが、ここは講師によくお願いしておくほかない。KK2のページの中で、プログラムがとてもとても探しにくい。一般の人はたどり着けないんじゃないかと思う 今回のプログラムは、環境変化に適応できるレジリエンス・マッスルの鍛え方「チーム編」ですが タフな心の育て方 の中に入っている
社員はなんとなく鎌田さんだからここかなと探せるが 一般なら無理

・ブレイクアウトルームで何をしたらいいのかわからなくなったので各ブレイクアウトルームにもファシリテータが必要ではないかと思った。
zoomで先生以外の方が話している声が2重に聞こえて聞き取りづらかった。

・通信環境の問題だと思うが、時折画面がフリーズしたり音声途切れたりしました。交流会では、短時間のフリーズや音声の途切れがコミュニケーションの支障になるのでオンライン交流会の難しさを感じました。

・レーザーポインターを使用されていましたが、コンテンツ画面では反映されていなく

、会場の映像では見にくく、映像を切り替えた時には指していなかったりしたのでPCのマウスを使用するか口頭で説明した方がいいと思いました。

・私がZOOMに慣れていなくてご迷惑をお掛けしました。オンラインも慣れてくるとよりスムーズに活用できるようになるのでしょうか。これからが楽しみです。ありがとうございました。

・交流会をオンラインで開催する場合、各部屋割りなどをする場合は進行役の割り振りが必要と思われる。

・オンライン参加の分、設問はもう少し多くても良いのではと感じます。ただお話を聞いているだけではアーカイブ動画を見ているような気分になるので、設問があるとリアルタイムで参加している実感がわきます。